

入院診療計画書

患者氏名 _____ 様

(幽門側胃切除クリニカルパス)

平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

病棟(病室) _____

主治医 _____

主治医以外の担当者 _____

病名	症状	検査・手術内容及び日程

幽門側胃切除_を受けられる患者様へ

	入院～	手術前日	手術当日		手術1日目	術後2~3日目	術後4日目	術後5日目	術後6日目	術後7日目	術後8日目	術後9日目	術後10日目 (退院)	
			手術前	手術後										
内服・注射・処置	今まで飲んでいた薬が有れば、医師の指示に従ってください。	就寝前に下剤を飲みます。点滴2本行います。眠れない場合は、睡眠剤があります。 	午後から手術の方は、午前中から点滴をします。	抗生剤の点滴があります。点滴は昼夜を通して行います。翌朝まで酸素吸入を行います。手術中に痛み止めの管を背中に入れます。その他にも痛みが強い時は痛み止めを使用しますので、我慢せずお話し下さい					5分粥以降は点滴は中止になります。					
検査					朝、採血があります。ベッド上で胸・腹のレントゲンを撮ります。				レントゲン室で、胃の造影検査を行います					
安静・運動	病院内自由です		手術の1時間前に手術衣に着替えて看護師と共に手術室へ行きます。	ベッド上で安静です。寝返りや膝立ては出来ません。	電動ベッドを使用し90度まで起こします。寝返りは自由です。自由歩行ができます									
食事	常食(治療食)	昼までは食事可能です。夜9時まで水やお茶を飲むことが出来ます	食べたり飲んだりが出来ません。			水分が許可されます		流動食が開始されます。食事の注意点について説明があります	5分粥が開始されます。		全粥が開始されます。		希望により常食にもできます。	
栄養	特別な栄養管理の必要性 有 ・ 無 (どちらかに○)													
入浴・清潔	シャワー(入浴)	臍の処置をします。その後シャワー浴をしてください。	朝、いつもどおり洗面・歯磨きをしてください。	夜看護師が洗面のお手伝いをします。	朝、洗面のお手伝いをします。診察前に体を拭き、着替えのお手伝いをします。	腹部の管など濡らさないようにして、下半身シャワー浴ができます。							入浴可となります	
排泄			朝浣腸をします。手術室入室前に、トイレを済ませておいてください。	手術中に尿を出す為の管が入ります。	手術室で入れた管を抜きます。									
到達目標	1.入院生活に関する決まりや日課について理解する。 2.検査・術前処置について理解し、必要な行動がとれる。 3.手術に対する不安を表出し軽減できる		4.合併症が起きず経過することができる。 5.ドレーンによる急性疼痛が緩和される。 6.セルフケア不足が充足される						7.胃切除後の食事の注意点を理解し摂取する。				8.異常の早期発見のため、定期通院・継続治療の必要性が理解できる。 9.社会復帰に対する不安を軽減でき、退院できる。	
説明・指導	看護師が手術前後の経過や必要物品について説明します。準備物:腹帯、バスタオル2~3枚、タオル2枚、ストロー付きコップ。禁煙です。	主治医が本人・家族へ手術や麻酔について詳しい説明をし、納得の上、手術承諾書に署名をしていただきます。麻酔科医と手術室看護師が術前訪問します。	手術前は声をお掛けしますので、お部屋でお待ちください。手術の間、ご家族は病室または食堂でお持ちください。	主治医より手術の結果をご家族に説明します。床ずれが出来ないように時々寝返りを打ちましょう。看護師もお手伝いします。不安な点がありましたら遠慮なく看護師に声を掛けてください。				食事のとり方に、注意点についてパンフレットをお渡しします。					経過をみて主治医が退院を許可します。	看護師が退院後の生活、次の来院日、お薬のことについて説明します。管理栄養士が栄養指導を行います。退院は午前中にお願います。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わり得るものです。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものです。